



DNW-26004 の概要

課題名： 腫瘍間質線維芽細胞マーカーを標的とした新規抗体薬物複合体の検証

主任研究者 (Principal Investigator) :

江崎 寛季

(国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院医学系研究科)

ステージ： 検証ステージ I

【標的疾患】

骨肉腫

【創薬標的】

腫瘍間質線維芽細胞 (CAF) マーカー

【創薬コンセプト】

骨肉腫細胞及び CAF の双方に発現するマーカーを標的とした抗体薬物複合体 (ADC) 投与により、双方の細胞を殺傷・除去する強力な抗腫瘍抗体医薬

【モダリティの設定】

ADC

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) PI が作製した ADC が骨肉腫増殖を *in vitro* 及び *in vivo* で抑制することを見出した。
- 2) 当該 CAF マーカー蛋白が患者の骨肉腫細胞と CAF の双方に発現していることを確認した。

【科学的、技術的な優位性】

- ・当該 CAF マーカーはがん細胞と CAF の双方に発現していることから、ADC はがん細胞のみならず CAF も同時に殺傷でき、従来型 ADC とは異なる薬理作用を持つ。
- ・ADC による *in vitro* 及び *in vivo* 試験での薬効を確認した。
- ・当該 CAF マーカーを標的とした抗がん剤の先行研究開発事例がなく、競合優位性が高い。
- ・各種固形がんでの当該 CAF マーカー発現が報告されており、他がん種への適応拡大

の可能性がある。

【支援ステージにおける目標】

臨床検体を用いた標的妥当性の検証。

【関連特許】

なし

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬事業部

E-mail : id3desk@amed.go.jp